

# 調 査 の 概 要

## 1 調査の目的

21 世紀成年者縦断調査（平成 24 年成年者）（以下、「24 年調査」という。）は、調査対象となった男女の結婚、出産、就業等の実態及び意識の経年変化の状況を継続的に観察することにより、少子化対策等厚生労働行政施策の企画立案、実施等のための基礎資料を得ることを目的として、平成 24 年から実施しており、今回で 3 回目の実施となる。

## 2 調査の対象及び客体

平成 24 年 10 月末時点で 20～29 歳であった全国（福島県の一部地域を除く。）の男女（及びその配偶者（ただし、第 1 回調査実施時までに把握した配偶者に限る。））を対象とし、そのうち、第 1 回又は第 2 回調査において協力を得られた者を客体とした。

## 3 調査の期日

調査の周期 毎年 1 回（11 月の第一水曜日）

調査の期日 第 3 回調査 平成 26 年 11 月 5 日（水）

## 4 調査票の種類

（1）男性票 （2）女性票

## 5 調査の事項

- （1）男性票 …… 仕事の有無、就業形態、配偶者の有無、子ども数、職業観、家事・育児時間、親との同居の有無、前年の所得等
- （2）女性票 …… 仕事の有無、就業形態、仕事と子育ての両立支援制度の状況、配偶者の有無、職業観、出産後の就業継続意欲、子ども数、家事・育児時間、親との同居の有無、前年の所得等

## 6 調査の方法

厚生労働省から郵送された調査票に被調査者が自ら記入し、郵送により厚生労働省に提出する方法により行った。

## 7 調査の系統

厚生労働省 ————— 被調査者

## 8 結果の集計及び集計客体

結果の集計は、厚生労働省大臣官房統計情報部において行った。

調査客体数、回収客体数及び集計客体数は次のとおりである。

なお、本概況における集計客体数とは、調査客体となって以降、継続して集計可能である客体をいう。

|                         | 調査客体数  | 回収客体数  | 集計客体数  |
|-------------------------|--------|--------|--------|
| 男性票                     | 15,889 | 7,304  | 6,045  |
| （再掲）配偶者票 <sup>（注）</sup> | 682    | 346    | 259    |
| 女性票                     | 15,785 | 8,507  | 7,160  |
| （再掲）配偶者票 <sup>（注）</sup> | 251    | 139    | 107    |
| 計                       | 31,674 | 15,811 | 13,205 |

（注）配偶者票とは、第1回調査における配偶者票対象者をいい、第2回調査からは、男性票又は女性票の対象者として調査を実施している。

（参考）第1回からの調査客体数と回収客体数（第1回調査における男性票及び女性票の対象者）

|     | 対象者の年齢 | 調査客体数  | 回収客体数  | 回収率   |
|-----|--------|--------|--------|-------|
| 第1回 | 20～29歳 | 38,879 | 31,122 | 80.0% |
| 第2回 | 21～30歳 | 33,835 | 18,979 | 56.1% |
| 第3回 | 22～31歳 | 30,741 | 15,326 | 49.9% |

※ 第1回は、調査員調査により実施